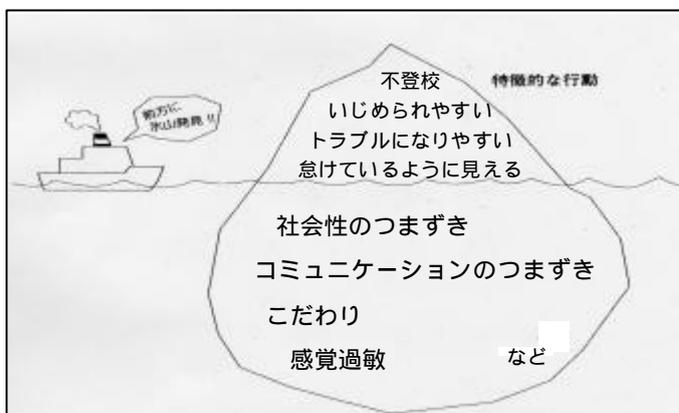


かかわり方の基本姿勢 ~すべての子どもにあてはまります~

特徴的な行動には、必ず原因（理由）があります。



氷山モデルのデザイン
佐々木正美 監修
「自閉症の人たちを支援
するということ」より改変

支援のポイント

頭ごなしに 叱らない

- ・ 場所を変え、落ち着いてから、すぐに振り返らせる。
- ・ 「怒られた」という気持ちだけが残らないようにする。

ひとつずつ ていねいに

- ・ 一を聞いて十を知ることは難しいが、十 言えば、十 わかる。
- ・ 穏やかに論理的に伝える。

こだわりに こだわらない

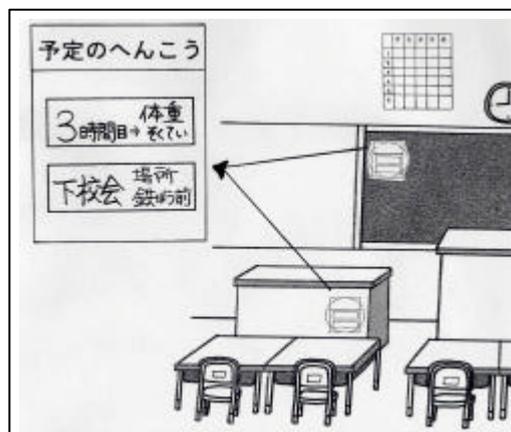
- ・ 折り合いをつける。
- ・ 特性として伸ばす。

ソーシャルスキルを高める例

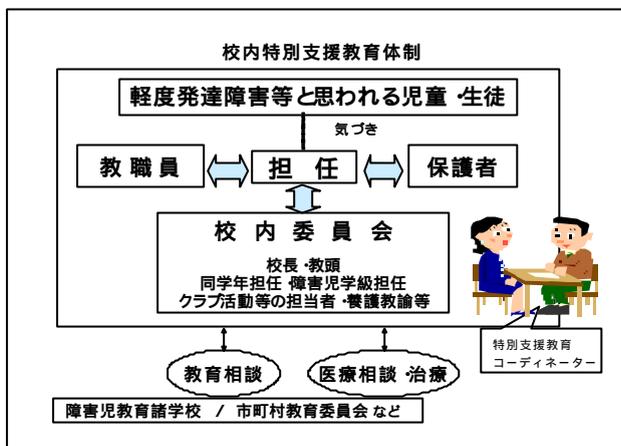


國分康孝監修 『ソーシャルスキル教育で子どもが変わる』より

構造化（変更を予告する）例



連携が大切です！



今まで紹介したような傾向は、誰にでもあります。

ただ、高機能自閉症・アスペルガー症候群の場合は、その程度が著しいと言えます。

しかし、それは**医師の診断**によるものです。勝手に決めつけたりできるものではありません。

二次障害を防ぐのは大人の役目です！

子どもが困っていることに気づかず、特性に応じた適切な支援をしなければ、いじめを受けたり、失敗経験を重ねたりして、自信をなくし、不登校になるなど二次障害を引き起こします。

「子ども理解」が基本です！

